



第七中学校

校長 柏木 圭子

よろしくお願いいたします

校長 柏木 圭子

令和4年度が始まりました。地域の皆様、保護者の皆様と力を合わせ、さらに本校を発展させられるよう全力を尽くします。どうぞよろしくお願いいたします。

中学校生活は3年間という短い期間ですが、大人への第一歩を踏み出す重要な時期です。生徒たちが、これからの長い人生を、力強く、希望をもって幸せに生きていくための基礎を第七中学校で身につけさせたいと考えます。そのために自分で考え、進んで行動できる人、思いやりの心をもった人を育成してまいります。

4月6日に始業式、7日には入学式を行いました。新入生134名を迎え、生徒数は420名になりました。落ち着いた態度、明るい表情の生徒たちと、信頼できる教職員とともに、第七中学校で教育活動を行えることに誇りと喜びを感じています。

本校の教育目標、目指す学校像、目指す生徒像、目指す教師像は以下のとおりです。この目標を目指し、日々の教育活動を行っていきます。地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

《学校の教育目標》

- 進んで学ぶ人
- 思いやりのある人
- 心身を鍛える人

《目指す学校像》

- 確かな学力を身に付けさせる学校
- 心身ともに健やかな生徒を育てる学校
- 生徒、保護者、地域から信頼される学校

《目指す生徒像》

- 目標をもち、自ら進んで学習に取り組む生徒
- 心身ともに健康で、自らの課題に一生懸命に取り組む生徒
- 礼儀や思いやりを大切にし、規律ある行動ができる生徒

《目指す教師像》

- 授業改善に向け、日々研究、実践に努める教師
- 生徒一人ひとりを理解し、温かな気持ちをもって生徒の健全育成に努める教師
- 教育公務員としての自覚と誇りをもって職務に励む教師

入学式

4月7日（木）、入学式を挙行政いたしました。新入生呼名で担任の先生から名前を呼ばれた新入生は緊張しながらも、大きな声で返事をし、立ち上がってくれました。

学校長式辞では、中学校生活を大人として自立するための力をつける大切な3年間ととらえ、次の2点について話をしました。

まず、「自分で考え、進んで行動しよう。」です。これから始まる中学校生活では、指示されたことや与えられたことをしっかりとやるのはもちろんです。それに加えて自分にとって必要なことは何か、自分の学級や学年をもっと良くするために、自分は何ができるかを考え、行動にうつしていきましょう。学校生活のあらゆる場面を、成長の場にしていきましょう。

次に、「思いやりのある人になろう。」です。私たちは、毎日の生活の中でたくさんの人と接していきます。そのときに、相手の気持ちを考える、まさに思いやることができるようになってもらいたいと思います。お互いの思いを大切にし、支え合うことが、過ごしやすい学級や学年、学校をつくり、さらには、自分も周りの人も力を発揮していける環境をつくることとなります。お互いが、支え合い、励まし合って、居心地のよい学級、学年をつくっていきましょう。

新入生代表生徒は、誓いの言葉の中で、当たり前で過ごしている毎日は、実はかけがえない時間になることをコロナ禍の2年間で知ったこと、そして学べる喜び、仲間と過ごす時間、中学校での3年間も、1日1日を大切に過ごしていきたいと思う、と述べました。

さらに部活動や学習面での不安はあるけれども、何事も基本を大事にして、小さいことをしっかり積み上げていきたいこと、新しいクラスで出会う人たちと、良き仲間として理解し合い、思いやりをもち、お互いを高め合っていきたい、との決意を発表しました。

顔をしっかりと上げ、一言一言をはっきりと発表する姿をとおして、中学校生活への期待と決意が感じられました。



新学期的様子

4月8日（金）から、全学年がそろった学校生活が始まりました。学年集会、自己紹介、教科書の配布、個人写真撮影など、新学期ならではの活動を行いました。新入生は、校内めぐりを行い、先生方からそれぞれの部屋についての説明などを聞きました。

また、従来は見られなかった活動として、タブレットにそれぞれの授業のクラスルームを登録する作業があります。生徒たちは使いなれている様子で、作業を円滑にすすめていました。